

# 青中だより



令和6年4月12日発行  
港区立青山中学校  
〒107-0061  
港区北青山一丁目1番9号  
電話 03-3404-7522

教育目標 自立 共生 創造 生徒目標 「真剣な学習」「節度ある行動」

## 新年度の初めに当たって

校長 中田 和直

新入生の皆さん入学おめでとうございます。また2年生、3年生の皆さん進級おめでとうございます。

2020年に新型コロナウイルスの感染が拡大し、2023年5月に感染症法上の扱いが2類から5類へ変更になるまでに4年を要し、5年ぶりによりやく行動制限のない新年度をスタートさせることができました。

4月9日(火)に入学式が行われました。お天気はあいにくの雨模様となりましたが、12年ぶりに開花が遅れ、満開となった桜のもと、新入生35名を迎えることができました。今年度の通常学級は1年生32名1クラス、2年生39名1クラス、3年生46名2クラスとなり全体としては4クラスとなりました。運用として1・2年生はそれぞれ授業を1クラスで行いますが、朝や帰りの学活、給食は2クラスに分けて生活をしていきます。特別支援学級は1年生3名、2年生2名、3年生6名の合計11名、全校生徒数128名でスタートしました。

入学式では式辞の中で中学校生活を充実させるために「自ら学習に取り組む姿勢」「人とつながる力」「高い目標をもち挑戦する力」「やり抜く力」の4つを身に付けられるように努力してほしいこととお話しました。

小規模の学校だからこそ全ての教員が全ての生徒と関わることができます。授業や行事、部活動の場面で生徒一人ひとりの成長をサポートしていきます。1日も早く学校生活に慣れ、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

昨年度は、いじめや大きな怪我もありました。日頃より落ち着いた学校生活を送ること、「思いやりの心」＝「想像力」、コミュニケーションの大切さを全校生徒に話しております。また、教職員にも日々機会をとらえて生徒に話をしよう伝えております。それでも様々な出来事が学校では起こります。学校は必ず対応してまいりますので何か気になることがありましたらお知らせください。また生徒の成長にはご家庭との連携が欠かせないことと思っております。ご協力をお願いいたします。

令和6年度は海外修学旅行が予定されたり、港区の公立中学校を対象に進路支援事業として、青山中学校と三田中学校を会場に18:00からの学習教室が実施されます。また校内ではスタディー・サプリ(学習ソフト)を公費で先行導入するなどの取組も予定しております。学習面では「個別最適な学び」と「協働的な学び」の計画的な授業改善に取組、学校行事等では「自分づくり」「仲間づくり」「集団作り」をテーマに教育活動を進めてまいります。今年度もよろしく願いいたします。



## 入学式歓迎の言葉 生徒会 会長 MKさん

新入生の皆様、保護者の皆様、本日はご入学おめでとうございます。私は今、新入生の皆さんが少しうらやましいです。3年前、無限に入っているのではないかと思えた中学校生活という砂時計の砂はもうはや3分の1に減り、今もなお絶え間なく落ち続けています。三年生になり塾の日数も増えます。もちろん闘志も感じますが、少し、気の重さも感じます。中学校生活は忙しいです。部にもよりますが、放課後毎日のように活動あったり、土日にも練習や大会があったりします。小学校になかった定期考査もあります。遊ぶことと勉強のメリハリをつけ、少なくとも2週間前からは試験勉強を中心に生活するといいと思います。自分の中で目標を立てることが、毎日を楽しく充実させるコツだと思います。自分は定期考査で9割の得点を取ることで、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることを目標にしています。入学したばかりで、友達ができるか心配だと思います。でも、青山中学校は小さな学校で、学年を超えて仲が良くアットホームな雰囲気があります。とは言え、友達ができるかどうかは、結局は自分次第。できるだけ多くの人とコミュニケーションをとる努力をしてください。自分は口下手だから、としり込みする必要はありません。入学したばかりの一年生は誰もが話しかけられることを待っているものです。「あ、変なことを言っちゃったかな」などと後悔する必要はありません。1ヶ月後にはきっと、「〇〇は、最初に私にこんな風に話しかけてきた」と一緒に笑える笑い話になっています。また、皆さんが困ったときはぜひ上級生に話しかけてください。青山中学校には助けてくれる先輩がたくさんいます。実は先輩も下級生に話しかけられるのを待っています。学年を超えて協力関係を築き、青山中学校を盛り上げていきましょう。春宵一刻値千金という言葉があります。春の宵は美しく、一刻に千金の価値がある。という意味です。花は清らかに香り、月はおぼろに霞がかかると続きます。まさに、今の季節の詩ですが、中学校生活そのものが、春の宵なのかもしれません。皆さんの3年間で清らかな香りに満ちていることをお祈りします。

## 入学式誓いの言葉 新入生代表 NSさん

いつになく遅い桜が今まだ綺麗に咲いているこの日、入学式を迎えられ楽しみと期待で胸が一杯です。中学校生活には不安も感じます。勉強では教科も増えるし、内容も難しくなります。私は塾で「中学準備講座」というのを受けました。数学の「正負の数」など、とても難しく感じました。小学校ではマイナスというのは出てこなかったので考え方を理解するのが難しかったです。楽しみなのは行事です。コロナで色々な行事ができなくなってしまった小学校生活でしたが、昨年はほぼ元通りに行事ができ、皆でやる行事の楽しさを改めて感じました。運動会で私は実行委員の組体操の係りに入り、組体操の見本を見せました。皆でダンスもやりました。小学校の運動会のダンスの振り付けは基本先生方が考えたものですが、中学校の運動会の応援ダンスは全て生徒が考えると伺いました。今からとても楽しみです。部活動も楽しみです。私は体を動かすのは好きなので、何か運動部に入りたいと思っています。小学校のクラブよりたくさんの活動ができ、皆で目標に向かって努力する運動会のワクワク感を日常的に味わえるのが部活動だと思います。難しい勉強との両立は楽ではないと思いますが、頑張ります。私な好きな言葉で「成功と失敗の一番の違いは、途中で諦めるかどうか」と言うのがあります。小学校時代、保健委員をやっていました。保健委員長に慣れれば代表委員会に入ることができます。私は代表委員になってみたいという気持ちがありました。その時は諦めてしまいました。「立候補したら投票になる。投票になったら勝てないかもしれない」そうしてしまったのです。後悔しています。もちろん、実際に立候補して投票なっても負けてなかったかもしれません。でもそれならそれで気持ちに区切りがついたと思います。立候補する勇気が出なかったことで、もやもやした気分が残ってしまいました。中学校では生徒会役員に挑戦したいと思っています。本日も来賓の先生方、ご家族の方、上級生の皆様から祝福をいただいて青山中学校の生徒になりました。皆様の期待に応えられるよう、勉強に励み、部活動や行事で自分を磨きたいと思っています。そしてなにより三年という短い中学校生活を楽しみたいと思います。